

令和7年度研究構想図

学校教育目標

『笑顔いっぱい』

— かしこく やさしく たくましい 児童の育成 —

<めざす子どもの姿>

『生きるための知恵を身に付け、思いやりのあるたくましい心と体をもつ子ども』

- ・意欲的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けた子ども
- ・人を思いやり、自分の思いを伝えることのできる子ども
- ・自分の考えをもち、進んで行動できる子ども
- ・健康な心と体をもつ子ども

研究主題

学びを見つめ、自己の学びに生かし主体的に学ぶ子どもの育成

— 自ら思考し、共に学びを深め合う力を育成する算数科の指導の工夫 —

研究を通してめざす子どもの姿

- ・自ら課題を見つけ、身に付けた知識や能力を課題の解決に生かそうとする子ども
- ・課題の解決に向けて、自分の考えをもち、学び合い、考えを深めようとする子ども
- ・自己の学びと向き合いながら振り返りをし、学びを生かし次の課題につなげる子ども
- ・学校、家庭、地域での学びを連続させ、ふるさとの未来を描く子ども

主体的な学びの実現

学びを未来につなぐ

授業と授業、単元と単元をつなぐ

実生活・実社会とつなぐ

単元のゴールを明確にする

学びをつなぐ単元構成の工夫

教師の意図的な働きかけ

教師による視点の提示

主体的・対話的に学ぶ授業の創造

グローバルな視点

SDGsとの関連

学び合いと振り返りの充実

新たな課題の発見

学びを見つめ変容や成長に気づき、自らの学びに生かす

自らの学びを意味付け、価値付ける

家庭の教育力

地域の教育力

各教科等の知識・技

コミュニケーション力

主体性

生徒指導の三機能

ことばの教育の充実